

## 『あなたが良きリーダーになる』

人材マネジメント部会幹事 鬼澤慎人  
(NPO 法人茨城県経営品質協議会 代表理事)

1年間、人材マネジメント部会にご参加いただき、ありがとうございました。今年もまた最後にこのような論文集をまとめることができたことは、幹事としてもうれしいことです。

人は自らを変えることができる。ただそのためには、きっかけが必要になるようです。人との出会い、仕事との出会い、本との出会い、言葉との出会いなど、様々な出会いを通して人は気づき、変わることができるのです。言い方を変えれば、成長することができるのです。この部会は、そういった出会いの機会（環境）を提供していくためにあると言ってもいいでしょう。

行政を取り巻く環境、社会全体を取り巻く環境は、依然として厳しいものがあります。

「先が見えない」と言って嘆くこともできます。でも夜が明ければ明日が来る。先は見えないのではなく、未来は創っていくものだと考えれば、嘆いたり、立ち止まったりしていいのではなく、一歩足を踏み出してみることが大切で、率先して行動する人が今の時代に求められているのです。今までは上から言われたことを確実にこなしていれば良かった。そんな時代から大きく変わったのです。

「あなたが良きリーダーになる。その覚悟を持っていますか？」と、この1年、私からもみなさんに問い続けて来ました。

そして、みなさんの覚悟がこの論文集にまとめられているのです。

『暗いと不平を言うよりも、自ら進んで灯りをともしなさい。

誰かがやるだろうということは、誰もやらないということを知りなさい。』

私が尊敬するリーダー、マザー・テレサの言葉ですが、毎年、論文集にはこの言葉を書かせてもらっています。

より良き未来を創ることは、今を生きる世代の使命です。

どうかこの論文に書いた気持ちをいつまでも忘れないでほしいと願っています。

では、良きリーダーになるためのリーダーシップとは何か。

未来を創るリーダーシップは、権力や権限、管理で人を動かすことではありません。ましてや、恐怖や脅しで人を動かすことでは決してありません。そんなことはみなさんも十分に承知していると思います。

しかし社会を見ると未だにそんな恐怖のリーダーシップを発揮している人や組織がまだま

たくさんあります。人がどんどん疲弊し、「能面とビー玉」のような表情で毎日を生きている人が多くなっています。

人が不幸になる組織や社会をつくりたくはありません。今何とかしていかなければならないと、様々なところで新しい動きも出てきています。つまり時代はいよいよそんな古いリーダーを浮き彫りにして、退場させようとしているようにも見えます。

最終的には、リーダー自身の人間性が問われていくのです。

「何を言うのかよりも、誰が言うのか」が大事なのです。そこにあるのは信頼と尊敬です。でも最初から完璧なリーダーがいるわけではないし、素晴らしいリーダーでないとダメなのかというと、決してそうではないと思っています。大切なことは、部下や仲間にとって、また地域にとってより良きリーダーになろうと覚悟を決め、自らを成長させようとする取り組みの姿勢そのもので、それが人間性として表れ、人に良い影響を与えていくのです。

私自身もこの10数年、少しでも良きリーダーとして成長したいと、リーダーシップについて学び、実践してきました。学べば学ぶほどリーダーシップとは、人として当たり前のこと、しかしその当たり前のことがなかなかできないことにも気づかされました。時には自分自身が嫌になってしまうこともあります。成長したい、人や社会の役に立ちたいという気持ちがあるお陰で、あきらめることなく、また一歩踏み出すことができています。

最後に、私がこれまで学んできた「未来を創るリーダーシップ」について、簡潔にまとめたものを紹介します。

どうかこれからも「良きリーダー」への道を歩み続けてください。

みなさんとの出会いで、私も多くのことを学び、気づかせていただきました。

本当にありがとうございました。

\*\*\*\*\*

## 「リーダーシップとは何か」

リーダーシップの本質を定義するのは難しい。だが、その存在を感じ取ることはできる。

リーダーは、無理やり人を従わせたりしない。人はリーダーに自然とついていくものだ。リーダーは、まず自らを信頼し、創造性を高める環境づくりをし、誠実かつ公平に振舞うことによって、人からの信頼を獲得する。

リーダーは、人に多くを求める一方で、自らも多くを与えるものである。

リーダーは、自分のためだけでなく、ともに働く人たちのために、大望を抱く。

リーダーは、人の能力を最大限に引き出し、それを持続させ、成長させることに注力する。

優れたリーダーは、決して孤高の英雄ではない。

リーダーは、成功のための組織戦略に、多くの人たちの才能と努力の結集が不可欠であることをよく知っている。

リーダーシップとは、多くの才能を結果へと昇華させる触媒である。

リーダーは、一つの問題に二つの異論があるときに、その一方を間違いであると断定しきれないことをよく知っている。

リーダーは、往々にして論争というものが表面的なものであることをよく知っている。

リーダーは、新たなるアイディアに耳を傾けつつも、そこから発生する問題に対して追求を怠らない。

有能なリーダーは、過去にとらわれることなく、感情的にも理性的にも未来志向である。

リーダーは、ものごとに責任を負い、革新を起こし、新たなることを始めるのに貪欲である。

リーダーは、単なる現状維持に満足することはない。

リーダーは、指示を与えるだけでなく、解決策を示す。献身と強さを兼ね備え、直面している課題やともに働く人たちをよく理解し、経験を踏まえて助言を与える。

リーダーとは、独善的ではなく、むしろ柔軟なものである。

リーダーは、服従よりも調和を重んじる。

リーダーは、論争から合意を引き出そうと努力する。

人が常に最善を尽くすようにすること、潜在能力を開花させる手助けをすること、共通の利益に向かって働く意欲を高めること、これらすべてがリーダーシップである。

有能な良きリーダーは、人から尊敬される。人から尊敬されるようになるには、まずは人を尊敬しなければならない。

組織の中のどんなレベルの人に対しても、彼らの仕事、能力、やる気、ニーズを尊重するリーダーは、自分自身も尊敬されるようになる。

そして、リーダーが心血を注ぐべきことは、ともに働く人たちをいかに動機づけするかということだ。

\*\*\*\*\*